Technical Data Sheet

93-58705　Shelburne 8370/8371　ガラス交換キット

キットに含まれるもの			ご用意いただくもの
3030-024	ガラス	1枚	はさみ
3110-056	1/4インチ・ロープガスケット	150 cm	ドライバー
3120-021	ガラスクリップ用ガスケット	6枚	ワイヤーブラシ
4500-3430	ガラスクリップ用ネジ	6ヶ	作業用グローブ
			潤滑スプレー（必要に応じて）

始める前に

- 必ずストーブが冷めた状態で作業してください。
- 割れたガラスの扱いには十分ご注意ください。
- ガラスには表と裏があります。シールの貼ってある面を表（外側）に向けて取り付けてください。
- **ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。**ガラスは熱で膨張しますので、きつく締めすぎるとヒビや破損の原因になります。

1. ドアを開け、そのまま上へ持ち上げてストーブ本体からドアを外します。ヒンジピンとワッシャーは元に戻すときのためになくさないようご注意ください。ドアの正面を下にして、作業しやすい場所に置きます。エナメルのドアは、表面を傷つけないようやわらかい布などで保護してください。
2. クリップを固定しているネジ（6箇所）を外します。（ネジが錆びついて外れにくい場合は潤滑スプレーを塗布後しばらく置いてください）外したクリップはなくさないようご注意ください。作業用グローブをはめ、割れたガラスを慎重に取り外し、廃棄してください。
3. 古いガスケットを取り除いたら、溝の汚れやサビをワイヤーブラシで落とし、かたく絞った布で残った汚れをきれいに拭き取ってください。新しいガスケットはシール付なので、接着剤は不要です。ガスケットについている紙を少しずつはがしながら、シール面を溝のほうへ、ガスケットを溝に押し込むように装着します。ガスケットは引っ張らず縮めず、一周したらガスケットが重ならないように、余分な分はカットしてください。
4. 新しいガラスは、シールの貼ってある面が外側にくるようにセットし、クリップとネジで元通りに固定します。この時、ネジをきつく締めすぎないようご注意ください。小さいガスケットは、ガラスとクリップの間のクッション材としてお使いください。
5. ガラスを取り付けたらドアをストーブに戻します。この作業は一人がガラスドアを持ち、もう一人がワッシャーを挟みピンを入れるようにすると楽です。

鋳物のサビが原因でガラスが割れるケースがありました。錆びが盛り上がり、ガラスが圧迫されて破損の原因となったようです。ガラス交換の際には、鋳物のサビをきれいに落としてください。
また、スプレー式の液状ガラスクリーナーをお使いの場合は、吹き付けた液体がたれてドア下部にたまり、サビやガスケット硬化の原因となりますので、液だれしないようご注意ください。